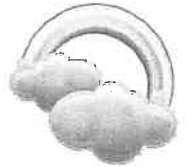




たからもの

◆学校支援地域本部だより No.22◆



学校支援地域本部事業は、学校のご理解と地域の方々のご協力に支えられて、ますます充実した活動に取り組んでいます。

小さいうちから様々な人たちと交流することは、社会性を培うのに大変役に立つと言われていています。大玉の子ども達は、授業の中でも地域の方々とふれあうことができるため、そこで得た体験は子ども達にとって大きな財産となっていることでしょう。ご理解ご協力を賜っておりますみなさまに心より御礼申し上げますとともに、3学期に行われた活動についてご紹介いたします。

H29/3/7 発行 大玉村学校支援地域本部

大玉村教育委員会（大玉村玉井字西庵 183 ☎48-3139）

活動紹介（3学期）

☆要請件数 15件（年間では 63件）

★協力していただいたボランティアさんの数 延べ71名（年間では 延べ419名）

安全パトロール系

● 毎日の登下校の見守り(大小・玉小合せて)
● 1月10日～ 村内各地 6名

図書館支援系

朝の読み聞かせ

1月16日～（4回）（玉小）延べ4名
9月7日～（4回）（大小）延べ6名

学校行事支援系

待機児童見守り

2月9日、2月28日（大小）延べ4名

1月20日、2月24日（玉小）延べ4名

十二神楽の衣装の着付け

1月17日、22日(大小4年) 延べ3名

田植え踊りの衣装の着付け

1月22日(玉小5年) 5名

台湾大竹国民中学校生徒との交流事業 ①

2月22日(大玉中)

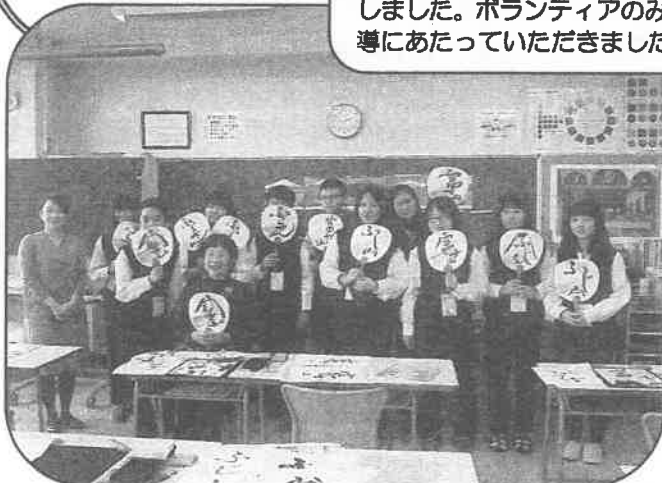
浴衣着付け 6名

茶道体験 4名

書道体験 1名

琴体験 3名

① 大玉中と台湾大竹国民中学校との交流事業で、大竹国民中の生徒たちが「琴演奏」「書道」「浴衣の着付けと茶道」のグループに分かれて、日本文化を体験しました。ボランティアのみなさまに指導にあたっていただきました。



幼稚園保育支援系

もちつき会の餅つきと合いどり

1月17日(大幼) 3名

そり遊びの補助

1月23, 24日、2月2日(玉幼) 延べ14名

1月16日、2月7日(大幼) 延べ7名

節分のお話・ひなまつりのお話

2月3日、3月3日(玉幼) 延べ2名 ②



②ひなまつりがなぜ行われるようになったのかというお話をやさしい言葉で教えていただきました。

今年度は12月に学校支援地域本部事業についてのアンケートを、児童・生徒、教職員、学校支援ボランティア、コーディネーターを対象に実施しました。質問内容はそれぞれ言葉は違いましたが「活動に満足しているか。」「学校支援ボランティアの必要性はあるか。」「相互に学ぶことができているか。」「これからも継続し活用していくべきか。」という内容のものでした。お答えいただいた回答では、全ての項目で90%程度以上の方が、学校支援地域本部事業の意義を理解し、その必要性を認め、これからも推進していくことに賛同して下さっていることが分かりました。アンケートの自由記述でいただいたご意見から抜粋したものをご紹介いたします。

【子どもたちから】

- ・よみきかせをしてもらって、わたしはもっとほんをよみたいです。(玉井小1年)
- ・ボランティアの方の読み聞かせで、知らなかったことを知ったことがあった。(大山小6年)
- ・身近だけどよく分からなかったことが、もっと分かるようになった。分かりやすかった。(玉井小6年)
- ・ボランティアの方が学校に来てくれることによって、私がまだ知らない地域の伝統や伝統的なものが知れて、もっと大玉村を好きになれました。(大玉中3年)
- ・ボランティアとして活動して下さる方に、私たちの文化祭や体育祭などの行事に来ていただきたいです。(大玉中2年)

【先生方から】

- ・担任だけの活動より、ボランティアの方がいればいろいろな活動ができ、子どもの様子に目を配り、いろいろな支援が可能になる。ボランティアの方の特技を生かした活動をしていきたい。
- ・人手が足りない時にだけお願いするだけでなく、学校と地域が密着して連携を図ることが子どもの健全育成につながると思う。その時だけでなく、日常的につながりを深めたいと思っています。

【ボランティアの方から】

- ・学校生活のことやお友達や先生についてたくさん話しかけてくれ、あいさつが一番増えたと思われます。
- ・部活動の補助を行い、自分の特技を生かすことができたことと、改めて基本を見直すことができた。
- ・新しい知識を得られることもあり、学ぶ意欲が湧いた。子ども達との活動では元気をもらえる。
- ・大人と子どもの会話が大切だと思った。若いお母さんたちに参加して経験してもらいたいです。

今回アンケートに丁寧に回答くださりましてありがとうございます。ボランティア活動によって、子どもたちのみならず、我々大人達もいろいろな事を共に学んでいることがよくわかりました。この事業が子どもや先生方も含めて地域の全ての人達の成長の糧になるよう推進してまいります。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

学校支援地域本部 コーディネーター 伊藤由美子